

指定管理者の管理運営状況調書

所管課	商工観光課
検証対象期間	令和 4 年 4 月 1 日～令和 6 年 7 月 31 日

1 指定概要

施設概要	名 称	大正ロマンの館	該当する番号に○をつけて下さい	
	所在地	矢吹町本町 161-7	施設類型	目的・機能
			I 事業実施 型	① 観光施設
				2 スポーツ・レクリ エーション施設
3 生活利便施設				
設置目的	町民及び観光旅行者を集客し、それぞ れの交流を促進することにより中心 市街地の活性化を図ります。		II 施設管理 型	4 文化施設
指定管理者	名 称	矢吹町バンド連合会		
	所在地	矢吹町八幡町 251 番地		
指定管理業務の内容		<ul style="list-style-type: none"> ・大正ロマンの館の運営 ・大正ロマンの館の適切な維持管理 ・大正ロマンの館での自主イベントの企画運営 ・カフェの営業 		
指定期間		令和 4 年 4 月 1 日～令和 7 年 3 月 31 日		
指定管理選考委員会等 の設置の有無		<input checked="" type="radio"/> (名称：大正ロマンの館指定管理者選定委員会) ・ 無		

2 管理運営実績

	目標（計画）	実績	要因・原因分析
施設の設置目的の 達成状況	町民及び観光旅行者 を集客し、それぞれの 交流を促進すること により中心市街地の 活性化を図ります。	(総来場者数) R4 4,958 人 R5 5,058 人 R6 1,397 人 ※R6 は 4～6 月分のみ	指定管理者の営業努力 により、来場者数は増加 傾向にあります。 一方、営業時間の違いは ありますが、前指定管理 者の期間（R 元～3）に は、年 10,000 人を超える 来場者数であったため、さらなる改善や努力 が求められます。

利用者の満足度	施設の適正な管理運営と自主イベントの開催により、中心市街地への人の流れを創出します。	カフェ利用者からは、建物の内装や雰囲気がおしゃれと評価をいただいています。毎月開催の定期イベント（ミニマルシェ）では、町内外からリピーターを獲得し、好評を得ています。	カフェ利用者、定期イベントのどちらもリピーターを獲得しているため、施設の管理運営について評価されていると考えられます。今後、さらに顧客満足度を向上させるため、アンケートの実施・分析等が必要です。また、利用者の満足度向上のために、営業時間の改善が必要です。
収支状況	R4 収入（予算） 12,994,000 円 支出（予算） 12,994,000 円 R5 収入（予算） 13,305,000 円 支出（予算） 13,305,000 円	R4 収入（実績） 8,812,972 円 支出（実績） 9,170,230 円 収支 ▲357,258 円 R5 収入（実績） 10,315,503 円 支出（実績） 7,997,269 円 収支 2,318,234 円	令和 4 年度の収支状況では 357,258 円の支出超過となっていました。令和 5 年度からはイベント開催による収入が増加したため、左記の収支状況となりました。今後も、最小の経費で最大の効果を上げる経営努力を期待します。

3 管理運営状況等の検証

検証項目	検証細項目	指定管理者の自己検証	自己評価	所管課の検証	所管課評価
I 運営方針、 管理能力	1 平等利用の確保	中心市街地活性化のための施設として、目的に沿った運営をしています。年齢層の幅が広い客層ですが、それに沿ったメニュー提供を心がけました。	5	日々の営業努力に加え、毎月の定期イベントの開催により、リピーターを獲得しています。一方、前指定管理者の期間（R元～3）と比較して、来場者数が半減していることを踏まえ、利用者を増やす工夫が必要です。	3
	2 管理運営体制	従業員の体制について、パート従業員の適正配置を心がけました。	4	調理師、パティシエ経験者などが配置され、質の高い商品が提供されています。一方、スタッフの数が少ないため提供までに時間を要しています。	3
	3 法令遵守等	協定・法令に則り業務を遂行しました。	4	協定書、業務仕様書その他法令に基づき、施設の管理運営が行われています。	4

II 施設維持 管理	1 利用者対応	笑顔、ハキハキとした言葉での対応、あいさつ、お礼を徹底しました。 大きなトラブルや苦情はなく、細かい苦情に対しては真摯に対応しました。	4	大きなトラブルや苦情はなく、良好な接客が行われています。 臨時休業日について、指定管理者及び所管課での周知を行っていますが、所管課への問合せがときどきあったため、周知方法の改善を検討する必要があります。	3
	2 地域貢献	まちづくり団体や地域行政と連携し、協力することができました。 規格外野菜を地元農家より購入し、商品に利用しています。	4	各種団体との連携が図られ、自主イベントの企画運営などが行われています。	4
	3 環境問題への取組み	1次産業での規格外、余剰分の物（いちごや野菜、米など）をできる限り付け合わせやスイーツに利用しました。	4	地域貢献と経費節減を図りながら、環境問題への取組みが行われています。	4
	4 防災対策及び緊急時の対応	消防計画に則り防災対策、設備の位置確認等を行いました。	3	防災訓練を実施しており、消防署から指摘のあった事項についての対策を進めています。	3
	5 個人情報保護及び情報公開	学習室の利用者名簿について、適切な管理を行いました。 定期イベントの開催や店舗情報などを SNS にて発信しました。	4	個人情報の適切な管理が行われています。 SNS を活用し、定期イベントの開催や町外イベントへの出店情報などがこまめに発信されています。	4
III 利用者に対するサービス向上	1 サービスの提供内容	大正時代の建物にマッチするような風合いなど、館内の装飾にこだわり来館者に喜んでいただけるよう工夫しました。 ショーケースを購入したことによりシフォンケーキの購入者が増加しました。 テイクアウトメニューを増やし、2階での飲食ができるようにしました。	5	定期イベントの開催や SNS での情報発信などにより、リピーターの獲得につながっており、利用者からは好評を得ています。 今後は、カフェ以外での利用者も増やすために2階（学習室、会議室、フォトルーム）の利用方法の見直しを検討します。 また、サービス向上のため、営業時間の改善が必要です。	3
IV 管理運営に関する収支計画	1 管理費用の執行状況	来客数が増加し、収入の増加につながっています。一方、原材料の高騰が続き支出も増加したため、一部メニューの値上を行いました。	3	事業計画書に基づく予算の執行が行われています。	3
V 総合検証	1 総合検証	中心市街地活性化の施設として、毎月のイベント開催、提供品の質の向上を目指しており、来場者も増加しています。 一方、2階のフォトルームの利用方法について、レンタル衣装の貸し出しやコスプレイヤーの撮影イベントなど、もっと魅力的な利用方法が必要だと感じます。	合計 40/50 点	前指定管理者の期間（R 元～3）と比較して、来場者数が半減していることを踏まえ、来場者数を増やすための改善や努力が求められています。 また、カフェ部分だけではなく、2階を含めて大正ロマンの館全体の利活用を図り、複合型のサービスの提供を検討します。	合計 34/50 点

二次検証	施設所管課	導入効果	大正時代の建物を利用したカフェの運営は、中心市街地活性化の一端を担っています。民間のノウハウを活用しながら施設を運営し、中心市街地への集客を図ることが今後も望ましいと考えられます。	
		今後の管理形態	指定管理者制度を継続します。 指定管理期間は5年が適当です。	
		その他	令和7年度の選定方法は「公募」により行います。	
	企画・デジタル推進課	導入効果	適正であります。	<ul style="list-style-type: none"> ・業務水準以上 (50～46 点) 90%を超える ・業務水準を上回る (45～41 点) 80%を超える ・概ね業務水準 (40～30 点) 60%以上 ・業務水準を下回る (29 点以下) 60%未満
		今後の管理形態	指定管理者制度	
		その他	令和7年度選定方法：公募 指定管理期間：5年	